

堺市の生物多様性にふれる冊子

堺いさものの通信

2022 秋号

のぞいてみよう
堺市の生物多様性

キンエノコロ

堺にすむいさものや彼らのすみかのことをどのくらい知っていますか？

堺にすむ

いきものたち

九月から十一月に
堺市内で見られる

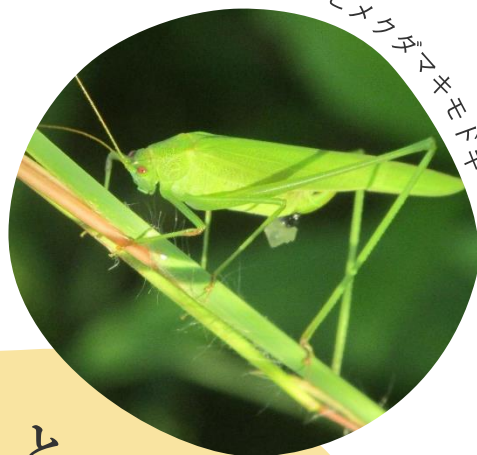
ここでご紹介する写真はすべて堺市内で撮影された写真です。Webサイト「堺いきもの情報館」に、市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。



ホヅババッタ



ソリハシシギ



ヒメクダマキモドキ



アサマイチモンシ



ミズスギ



シマジロエダシャク

生物多様性

すべての生物の間に違いがあること

たくさんの個性豊かな生き物たちが **つながり** をもって生きています

イボバッタ



もっと生物多様性を感じてみよう
いきもの知りになろう!

- 虫聴き -

「虫聴き」という文化をご存じですか。スズムシやエンマコオロギなどの虫の鳴き声に耳を澄まし、秋の夜長を過ごすという古来の文化です。お月見と同じく秋の風物詩として広く楽しまれ、昔の人々は虫の鳴き声を聴くだけで、虫を特定できたほどです。今では、スズムシは珍しくなりましたが、公園の草むらなどにはエンマコオロギやキリギリスが生息しており、「♪コロコロリリリー」、「♪ギーッ・チョン」など、美しい鳴き声を聴かせてくれます。今年の秋は、虫の鳴き声に耳を傾け、秋の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。

いきものたちのすみか



ベニトンボ



イシミカワ



モズ

いきものたちはどこにすんでいるのか?

写真には生き物の姿だけでなく、多様な自然環境が写りこんでいます。彼らのすみかは多種多様です。堺市内には草地のある公園やため池、河川、木々がしげる古墳や南部丘陵などといったいきものたちのすみかがたくさん存在します。みなさんの身近な場所にあるすみかにもいろんな生き物たちがすんでいるはず。このように多様なすみかがあることを生物多様性の一つである「生態系の多様性」といいます。

生物多様性とは身近なものなんですよ!



ビロウドコガネ

いき

もっと もの知りになれる！

生物多様性のおはなし

今回はみなさんに「生物多様性の保全活動」についてお話します。「保全活動」というと、植樹や外来生物の駆除などをイメージする方も多いかと思いますが、みなさんの日常生活の中でも取り組める「保全活動」が数多くあります。今回は特に、消費活動に焦点を当て、お話します。

私たちは毎日、食べ物、燃料、薬など、生物多様性によりもたらされる恵みを消費しており、消費行動なしに私たちの生活は成り立ちません。この消費行動に環境への配慮の視点を取り入れることが、今すぐ実践できる保全活動の一つです。突然ですが、エシカル消費という言葉を知っていますか。エシカルとは「倫理的」という意味であり、エシカル消費とは「人や社会、環境に配慮した消費行動」ということです。難しく思うかもしれませんが、商品を選択するときに「どこで・誰が作ったか」、「環境に配慮しているか」等を考えることです。例えば、地元で生産された商品を選択すれば、輸送のために消費されるエネルギーを削減することができ、リサイクル素材を使用した商品を選択すれば、環境負荷を減らすことができます。このように、普段の買い物を通して、生物多様性の保全に貢献することができるのです。

買い物とは意思表示です。ひとりの力は小さいかもしれませんが、みなさんが率先して環境に配慮した商品を選択することで、企業・生産者へ環境に配慮した生産を行うように訴えかけることができます。一緒に生物多様性の保全を進めていきましょう。

堺市の生物多様性を考えるWEBサイト



◀編集・発行▶

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp

ユーザーネーム
sakai_ikimono



Webサイト
トップページ



Instagram
アカウント